

2021年度

第2回



機械保全技能検定

受 検 案 内

特 級 ・ 1 級 ・ 2 級 ・ 3 級

受 検 申 請 期 間

インターネット申請

全 等 級 2021年8月30日(月)10:00 ~ 9月24日(金)18:00

郵 送 申 請

3級 2021年8月30日(月) ~ 9月10日(金)消印有効

特・1・2級 2021年8月30日(月) ~ 9月17日(金)消印有効

公式サイト : <https://www.kikaihozenshi.jp/>

試験実施に関する変更事項や受検者への通知事項がある場合など試験実施に関する最新の情報は、公式サイトに掲載します。
必ず公式サイトで最新の情報を確認してください。



技能検定とは、働くうえで身につける、または必要とされる技能の習得レベルを評価する国家検定制度です。
技能に対する社会一般の評価を高め、働く人々の技能と地位の向上を図ることを目的として、職業能力開発促進法に基づき実施されています。



厚生労働大臣指定試験機関
公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
Japan Institute of Plant Maintenance

新型コロナウイルス感染症等の感染症拡大防止の対策について

1. 2021年度第2回機械保全技能検定試験の実施

(1) 試験実施の可否について

- 現時点（2021年7月時点）の状況においては、2021年度第2回機械保全技能検定試験は予定どおり実施します。
- 実施可否に関わる情報は、逐次更新される場合がありますので、公式サイトの確認をお願いします。

2. 試験会場来場の際の受検者（ならびに運営スタッフ等）へのお願い

(1) 受検者（ならびに運営スタッフ等）への依頼事項

- 受検者（ならびに運営スタッフ等）は、試験会場において下記事項の協力をお願いします。

- (ア) 試験会場における感染症拡大防止への協力
- (イ) マスクの持参および会場内でのマスクの着用
- (ウ) 会場におけるこまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施

(2) 試験日直近の体調等の報告

- 受検者は、受検票に下記を記載し、試験日当日提出してください。

(ア) 試験当日の体温の報告

(イ) 試験日前2週間における以下の事項の報告

- a 37.5℃以上の発熱
- b 咳、のどの痛みなどの風邪の症状
- c だるさ（倦怠感）、息苦しさ
- d 嗅覚や味覚の異常
- e 身体が重く感じる、疲れやすい等
- f 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- g 同居家族や身近な知人の感染が疑われる方の有無
- h 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該国等の在住者との濃厚接触の有無

※ 運営スタッフも同様の確認を行います

※ 発熱・咳等の症状がある方は受検を控えてください

3. 試験会場での対応

(1) 試験会場における対応

- 下記の項目に従い、会場の設営および運営を行います。ご了承ください。

- (ア) 試験会場の施設内に、石けんや消毒用アルコールを設置する等、手指の衛生を保つことができる環境を整備します。運営スタッフも適宜使用します。
- (イ) 試験会場では、試験の実施に支障が生じない範囲で換気に努めます。
- (ウ) 試験の配席に当たっては、原則として受検者相互に1メートル以上の間隔を取るよう配席を行います。
- (エ) 試験会場内での移動により受検者等が密集することのないよう、入室、退室を一斉に行わないように配慮します。
- (オ) 受検者に発熱、咳等の症状がみられた場合は、必要に応じて受検の自粛をお願いすることがあります。
- (カ) 会場内では運営スタッフもマスク着用のうえ運営します。また、必要に応じ、フェイスシールドを着用して運営する場合があります。
- (キ) 運営スタッフは、説明事項、注意事項のアナウンスの際は、受検者との対面を避けた対応となります。
- (ク) 会場設備等（作業机等）はアルコール消毒を実施します。
- (ケ) 電気系保全作業の実技試験にて使用する機材（事務局準備）は、適宜、アルコールなどの消毒等を施し、提供します。また、受検者準備の工具等においては、受検者自身でアルコール消毒をするなど感染症拡大防止対策をお願いします。
- (コ) 感染症拡大防止対策により、一部試験の運営方法を変更する場合があります。その際は、変更とともに受検者への影響度合いにより、事前に公式サイト等での公開、もしくは試験日当日にお知らせします。

以上

INDEX

注意事項 新型コロナウイルス感染症等の感染症拡大防止の対策について	P.2
-----------------------------------	-----

Chapter 1 試験概要

1. 実施する等級・作業	P.4
2. 試験方法と合格基準	P.4
3. 試験実施日	P.5
4. 特級・1級 学科試験・実技試験（電気系保全作業の実技試験は除く）	P.6
5. 2級 学科試験・実技試験（電気系保全作業の実技試験は除く）	P.7
6. 3級 学科試験・実技試験（電気系保全作業の実技試験は除く）	P.8
7. 1級・2級・3級 電気系保全作業の実技試験	P.9
8. 受検資格	P.10
9. 試験の免除	P.14
10. 免除付受検申請	P.15
11. 受検手数料	P.16

Chapter 2 受検申請手続き

1. 受検申請上の注意点	P.17
2. 受検申請手続き	P.19
3. 個人／団体マイページの利用方法	P.19
4. 個人申請の流れとスケジュール	P.20
5. 団体申請の流れとスケジュール	P.21

Chapter 3 FAQ（よくあるお問合せ）

1. FAQ（よくあるお問合せ）	P.22
お問合せ先	P.24

1 実施する等級・作業

本試験回では、下記の○が記載されている試験を実施します。

等級	機械系保全作業	電気系保全作業	設備診断作業
特級	○ (作業区分なし)		
1 級	○	○	○
2 級	○	○	○
3 級	○	○	

※いずれの等級・作業において、学科試験・実技試験を行います

2 試験方法と合格基準

試験は学科試験と実技試験を行います。

学科試験と実技試験の両方に合格することで「技能士」と称することができます。

各設問の配点、受検者個別の解答内容などの採点結果に関わる情報は非公開です。

学科試験

＜合格基準＞ 加点法で100点満点として65点以上の場合、合格

等級	作業	出題形式・出題数	解答方法	試験時間
特級	—	五肢択一・50問	マークシート方式	120分
1 級	全作業共通	真偽法・25問		100分
2 級		四肢択一・25問		
3 級		真偽法・30問		60分

実技試験

＜合格基準＞ 減点法で41点以上の減点がない場合、合格

等級	作業	実施方法・出題数	解答方法	試験時間
特級	—	計画立案等作業試験・10課題	マークシート方式	150分
1 級	機械系保全作業	判断等試験・8課題	マークシート方式	80分
	電気系保全作業	制作等作業試験・2課題	作業採点※ (一部マークシート方式)	110分
	設備診断作業	判断等試験・10課題	マークシート方式	100分
2 級	機械系保全作業	判断等試験・8課題	マークシート方式	80分
	電気系保全作業	制作等作業試験・2課題	作業採点※ (一部マークシート方式)	110分
	設備診断作業	判断等試験・8課題	マークシート方式	80分
3 級	機械系保全作業	判断等試験・7課題	マークシート方式	70分
	電気系保全作業	制作等作業試験・2課題	作業採点※ (一部マークシート方式)	110分

※解答方法が「作業採点」の試験は、筆記具以外に工具等の持参が必要です。必要な工具は公式サイトに掲載しています

3 試験実施日

等級	作業	試験区分	試験実施日(期間)
特級	—	学科試験・実技試験	2022年 1 月16日(日) 学科試験(午前)・実技試験(午後)
1 級	機械系保全作業	学科試験・実技試験	
	電気系保全作業	学科試験	
	設備診断作業	学科試験・実技試験	
2 級	機械系保全作業	学科試験・実技試験	2021年12月19日(日) 学科試験(午前)・実技試験(午後)
	電気系保全作業	学科試験	
	設備診断作業	学科試験・実技試験	
3 級	機械系保全作業	学科試験・実技試験	2022年 1 月16日(日) 学科試験(午前)・実技試験(午後)
	電気系保全作業	学科試験	
1 級 2 級 3 級	電気系保全作業	実技試験	2021年12月 4 日(土) ～2022年 2 月27日(日) 期間内の土曜日・日曜日に実施 ※上記以外に欄外の予備日設定あり

※各受検申請者の試験日は事務局にて決定します。試験日は、受検票にてお知らせします

※詳細は、9ページを確認してください

4 特級・1級 学科試験・実技試験（電気系保全作業の実技試験は除く）

試験日：2022年1月16日（日）

受検申請書の希望受検地区欄に希望する受検地区を下表より選び記入してください

※学科試験・実技試験（電気系保全作業を除く）を両方受検する場合、同じ受検地区を記入してください

※下記の場合は、希望された受検地区の周辺地区への変更をお願いする場合があります

- ・新型コロナウイルス感染症等により、下表の受検地区内に会場が確保できない場合
- ・受検地区別に、想定以上の受検申請者の増加があった場合、もしくは受検申請者数が想定人数に満たない場合（想定人数は、昨年度実施の受検者数をもとに一定割合の増加分を加味しています）

※1級電気系保全作業の実技試験は、9ページを確認してください

受検地区	特級	1 級			受検地区	特級	1 級		
	学科 / 実技	機械系 学科 / 実技	電気系 学科	設備診断 学科 / 実技		学科 / 実技	機械系 学科 / 実技	電気系 学科	設備診断 学科 / 実技
札幌	○	○	○	○	大津	○	○	○	○
青森	—	○	○	—	京都	—	○	○	—
北上	—	○	○	—	大阪	○	○	○	○
仙台	○	○	○	○	神戸	○	○	○	○
秋田	—	○	○	—	姫路	—	○	○	—
山形	—	○	○	—	奈良	○	○	○	○
郡山	—	○	○	—	和歌山	—	○	○	—
水戸	○	○	○	○	鳥取	—	○	○	—
宇都宮	○	○	○	○	松江	—	○	○	—
前橋	○	○	○	○	岡山	○	○	○	○
太田	—	○	○	—	広島	○	○	○	○
さいたま	○	○	○	○	福山	—	○	○	—
千葉	○	○	○	○	山口	○	○	○	○
23区	○	○	○	○	周南	—	○	○	—
横浜	○	○	○	○	徳島	—	○	○	—
相模原	—	○	○	—	高松	○	○	○	○
新潟	○	○	○	○	松山	—	○	○	—
富山	○	○	○	○	福岡	○	○	○	○
金沢	—	○	○	—	北九州	—	○	○	—
福井	○	○	○	○	佐賀	—	○	○	—
甲府	—	○	○	—	長崎	—	○	○	—
松本	○	○	○	○	熊本	○	○	○	○
岐阜	○	○	○	○	大分	—	○	○	—
静岡	—	○	○	—	宮崎	—	○	○	—
浜松	○	○	○	○	鹿児島	—	○	○	—
名古屋	○	○	○	○	那覇	○	○	○	○
岡崎	—	○	○	—					
豊橋	—	○	○	—					
津	○	○	○	○					

5 2級 学科試験・実技試験（電気系保全作業の実技試験は除く）

試験日：2021年12月19日（日）

受検申請書の希望受検地区欄に希望する受検地区を下表より選び記入してください

※学科試験・実技試験（電気系保全作業を除く）を両方受検する場合、同じ受検地区を記入してください

※下記の場合は、希望された受検地区の周辺地区への変更をお願いする場合があります

- ・新型コロナウイルス感染症等により、下表の受検地区内に会場が確保できない場合
- ・受検地区別に、想定以上の受検申請者の増加があった場合、もしくは受検申請者数が想定人数に満たない場合（想定人数は、昨年度実施の受検者数をもとに一定割合の増加分を加味しています）

※2級電気系保全作業の実技試験は、9ページを確認してください

受検地区	2 級			受検地区	2 級		
	機械系 学科 / 実技	電気系 学科	設備診断 学科 / 実技		機械系 学科 / 実技	電気系 学科	設備診断 学科 / 実技
札幌	○	○	○	豊橋	○	○	—
青森	○	○	—	津	○	○	○
八戸	○	○	—	大津	○	○	—
北上	○	○	—	京都	○	○	—
仙台	○	○	○	大阪	○	○	○
秋田	○	○	—	神戸	○	○	○
山形	○	○	—	姫路	○	○	—
郡山	○	○	○	奈良	○	○	—
水戸	○	○	—	和歌山	○	○	—
つくば	○	○	—	鳥取	○	○	○
宇都宮	○	○	—	松江	○	○	—
前橋	○	○	—	岡山	○	○	○
太田	○	○	—	広島	○	○	○
さいたま	○	○	—	福山	○	○	—
千葉	○	○	—	山口	○	○	○
23区	○	○	○	周南	○	○	—
横浜	○	○	○	徳島	○	○	—
相模原	○	○	—	高松	○	○	○
新潟	○	○	○	松山	○	○	—
富山	○	○	○	高知	○	○	—
金沢	○	○	—	福岡	○	○	○
福井	○	○	○	北九州	○	○	—
甲府	○	○	—	佐賀	○	○	—
長野	○	○	—	長崎	○	○	—
松本	○	○	○	熊本	○	○	—
岐阜	○	○	○	大分	○	○	—
静岡	○	○	—	宮崎	○	○	—
浜松	○	○	○	鹿児島	○	○	—
名古屋	○	○	○	那覇	○	○	○
岡崎	○	○	—				

6 3級 学科試験・実技試験（電気系保全作業の実技試験は除く）

試験日：2022年1月16日（日）

受験申請書の希望受験地区欄に希望する受験地区を下表より選び記入してください

※学科試験・実技試験（電気系保全作業を除く）を両方受験する場合、同じ受験地区を記入してください

※下記の場合は、希望された受験地区の周辺地区への変更をお願いする場合があります

- ・新型コロナウイルス感染症等により、下表の受験地区内に会場が確保できない場合
- ・受験地区別に、想定以上の受験申請者の増加があった場合、もしくは受験申請者数が想定人数に満たない場合（想定人数は、昨年度実施の受験者数をもとに一定割合の増加分を加味しています）

※3級電気系保全作業の実技試験は、9ページを確認してください

受験地区	3 級		受験地区	3 級	
	機械系 学科 / 実技	電気系 学科		機械系 学科 / 実技	電気系 学科
札幌	○	○	大津	○	○
青森	○	○	京都	○	○
八戸	○	○	大阪	○	○
盛岡	○	○	神戸	○	○
北上	○	○	奈良	○	○
仙台	○	○	和歌山	○	○
秋田	○	○	鳥取	○	○
山形	○	○	松江	○	○
酒田	○	○	江津	○	○
郡山	○	○	岡山	○	○
白河	○	○	広島	○	○
水戸	○	○	福山	○	○
宇都宮	○	○	山口	○	○
前橋	○	○	周南	○	○
さいたま	○	○	徳島	○	○
千葉	○	○	高松	○	○
23区	○	○	松山	○	○
横浜	○	○	高知	○	○
新潟	○	○	福岡	○	○
長岡	○	○	北九州	○	○
富山	○	○	久留米	○	○
金沢	○	○	佐賀	○	○
福井	○	○	長崎	○	○
甲府	○	○	熊本	○	○
長野	○	○	大分	○	○
松本	○	○	宮崎	○	○
岐阜	○	○	都城	○	○
静岡	○	○	鹿児島	○	○
浜松	○	○	那覇	○	○
名古屋	○	○	沖縄	○	○
津	○	○			

7 1級・2級・3級 電気系保全作業の実技試験

試験日：2021年12月4日(土)～2022年2月27日(日)の土曜日・日曜日に実施

2021年12月25日・26日・2022年2月26日・27日は予備日(名古屋を除く)

受検申請書の希望受検地区欄に希望する受検地区を下表より選び記入してください

※受検地区は選択できますが、試験会場・試験日については選択(指定)できません

※下記の場合は、希望された受検地区の周辺地区への変更をお願いする場合があります

- ・新型コロナウイルス感染症等により、下表の受検地区内に会場が確保できない場合
- ・受検地区別に、想定以上の受検申請者の増加があった場合、もしくは受検申請者数が想定人数に満たない場合(想定人数は、昨年度実施の受検者数をもとに一定割合の増加分を加味しています)

【1級】受検地区

試験日程	受検地区
12月4日(土)～5日(日)	札幌、秋田、水戸、千葉、横浜、金沢、松本、静岡、浜松、名古屋、津、京都、神戸、岡山、山口、松山、北九州、宮崎
12月11日(土)～12日(日)	北上、山形、宇都宮、さいたま、23区内、新潟、福井、甲府、静岡、浜松、名古屋、大阪、鳥取、広島、徳島、大分、鹿児島
12月18日(土)～19日(日)	青森、仙台、郡山、前橋、横浜、富山、岐阜、名古屋、津、大津、大阪、姫路、広島、高松、北九州、熊本、那覇
2月26日(土)～27日(日)	名古屋

【2級】受検地区

試験日程	受検地区名
12月18日(土)～19日(日)	青森、那覇
1月8日(土)～9日(日)	札幌、水戸、宇都宮、さいたま、横浜、富山、松本、浜松、津、神戸、岡山、高松、長崎、大分
1月15日(土)～16日(日)	帯広、北上、水戸、前橋、23区内、横浜、福井、静岡、浜松、名古屋、津、大津、大阪、和歌山、福山、松山、熊本
1月22日(土)～23日(日)	秋田、山形、千葉、横浜、金沢、松本、静岡、浜松、津、京都、大阪、姫路、山口、宮崎
1月29日(土)～30日(日)	宇都宮、前橋、さいたま、千葉、23区内、新潟、岐阜、浜松、大津、神戸、奈良、鳥取、岡山、広島、北九州
2月5日(土)～6日(日)	仙台、郡山、宇都宮、富山、甲府、岐阜、静岡、名古屋、大津、大阪、姫路、松江、岡山、広島、徳島、北九州、佐賀、鹿児島
2月12日(土)～13日(日)	名古屋
2月19日(土)～20日(日)	名古屋
2月26日(土)～27日(日)	名古屋

【3級】受検地区

試験日程	受検地区名
2月12日(土)～13日(日)	札幌、盛岡、秋田、郡山、宇都宮、前橋、千葉、23区内、横浜、新潟、富山、福井、静岡、名古屋、津、大津、松江、岡山、山口、高松、熊本、那覇
2月19日(土)～20日(日)	釧路、仙台、山形、酒田、水戸、さいたま、多摩地区、新潟、金沢、松本、岐阜、浜松、名古屋、津、大阪、岡山、広島、福岡、大分、宮崎、那覇、沖縄
2月26日(土)～27日(日)	名古屋

8 受検資格

受検申請する際には受検資格No.が必要になりますので、下記の受検資格について、よくご確認いただき受検申請をしてください(特級・3級は除く)。

受検資格は、機械保全に関する業務に就いていた実務経験年数(過去の実務経験も含める)により判定します。実務経験年数が受検資格に満たない場合は、機械保全技能検定の合格歴、学校の卒業歴や職業訓練歴などで実務経験年数が短縮されることがあります。

各受検者の受検資格については、「(2) 受検資格に応じた受検申請方法について」と「(3) 各等級の受検資格(短縮要件)」で、受検申請方法と受検資格No.を確認してください。

～「受検資格判定」サイトの利用のすすめ～

機械保全技能検定 公式サイト (<https://www.kikaihozenshi.jp/>)

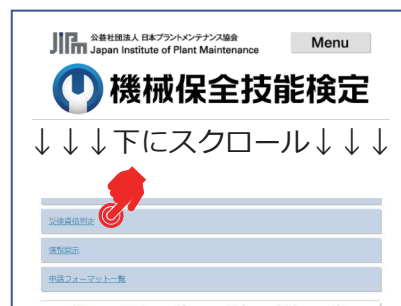
〈パソコン画面〉

サイドメニュー(右側)の「受検資格判定」ボタンをクリック



〈モバイル画面〉

下にスクロールのうえ、「受検資格判定」をクリック



いくつかの質問を回答いただくことで、受検資格の有無と、受検資格 No. (1級・2級) を簡単に調べることができます。
※受検資格に応じた受検申請方法は、11ページを確認してください

(1) 実務経験年数

① 受検に必要な実務経験年数

等 級	受検に必要な実務経験年数
特級	1 級合格後 5 年以上
1 級	7 年以上
2 級	2 年以上
3 級	0 年(問わない)

※受検申請時に、実務経験年数を証する書類の添付は不要です

※機械保全に関する管理監督、訓練、教育、研究に関する業務、入職後の訓練・教育を受けた期間も含まれます

② 機械保全に関する業務(例)

- ・ 機械、設備の保全計画の作成
- ・ 機械、設備に生ずる欠陥の発見
- ・ 機械、設備の異常時の対応
- ・ 機械、設備状況の測定データの収集
- ・ 機械、設備状況の測定データの解析および判定
- ・ 機械、設備の保全方法の決定および処置

③ 実務経験年数の算出方法

機械保全に関する業務に就いた日から受検申請最終日「2021年9月24日(金)」までです。

「1級合格後」は、1級合格日の翌日から受検申請最終日までを算出してください。

(2) 受検資格に応じた受検申請方法について

受検資格 No.により、受検申請方法が異なります(受検資格 No.D～G は郵送申請のみ受付)。
また、郵送申請は、インターネット申請と比較して、受検申請期間が短いためご注意ください。

団体申請の際の注意事項	
受検申請締切が異なる申請を一括で団体申請する場合	受検申請の締切が早い期日にあわせて申請してください。 ※団体情報登録は、1団体で複数登録することができます。受検申請締切ごとに登録する場合は該当しません。ただし、請求書や送付物は、団体情報登録ごとの対応となりますのでご注意ください(各種統合などの対応はできません)
団体申請で1級・2級の受検資格(No.D～G)を含む場合	受検資格(No.D～G)を含めた団体申請をする際は、全対象者を郵送申請で申請してください。 ※団体情報登録は、1団体で複数登録することができます。受検申請方法ごとに登録する場合は該当しません。ただし、請求書や送付物は、団体情報登録ごとの対応となりますのでご注意ください(各種統合などの対応はできません)

※受検申請時に、実務経験年数を証する書類の添付は不要です

等級	受検資格	受検資格 No.	インターネット申請締切日	郵送申請締切日
特級	1 級技能士合格後 実務経験年数 5 年以上	受検資格 No. 不要	9/24 18:00	9/17消印有効 ※3級除く
1 級	A 実務経験年数	A-1		
	B 技能士合格※	B-2、 B-3		
	C 学校卒業※	C-4～C-12		
	D 普通職業訓練修了※	D-13～D-25	郵送申請のみ	
	E 高度職業訓練修了※	E-26～ E-32		
	F 指導員訓練修了等※	F-33～ F-45		
	G 個別認定の職業訓練修了等※	G-46		
2 級	A 実務経験年数	A-51	9/24 18:00	
	B 技能士合格	B-52		
	C 学校卒業	C-53～C-58		
	D 普通職業訓練修了	D-59～D-65	郵送申請のみ	
	E 高度職業訓練修了	E-66～ E-72		
	F 指導員訓練修了等	F-73～ F-85		
	G 個別認定の職業訓練修了等	G-86		
3 級	機械保全に関する業務に従事している者、 あるいは従事しようとしている者	受検資格 No. 不要	9/24 18:00	9/10消印有効

他の等級よりも
申請期間が短い
ため要注意 !!

他の等級よりも
申請期間が短い
ため要注意!!

※1級の受検資格は、上記記載内容に加えて、合格・卒業・終了後の実務経験年数が必要です。詳細は、12ページを参照してください

(3) 各等級の受検資格(短縮要件)

①特級受検資格一覧表

特級の受検資格は、下表の1種類のみで短縮要件はありません。

受検資格区分	受検資格 No.	受検資格の内容	合格後の実務経験年数
技能士合格と実務経験年数	—	1級 機械保全技能検定合格	5年以上

②1級受検資格一覧表

下表の中から該当する受検資格を確認し、受検申請をしてください。

受検資格 No.B ～ G の方は「受検資格の内容」を満たした後に記載の実務経験年数が必要です。

受検資格区分	受検資格No.	受検資格の内容(1級)	合格・卒業・修了後の 実務経験年数
A 実務経験年数	A-1	機械保全に関する実務経験7年以上	—
B 技能士合格	B-2	2級 機械保全技能検定合格	2年以上
	B-3	3級 機械保全技能検定合格	4年以上
C 学校卒業	C-4	高校卒業(機械保全職種に関する学科)	6年以上
	C-5	専修学校卒業(機械保全職種に関する学科・大学入学資格付与課程に限る)	
	C-6	専修学校卒業(機械保全職種に関する学科・授業時間数800時間以上)	
	C-7	短大・高専・高校専攻科卒業(機械保全職種に関する学科)	5年以上
	C-8	専修学校卒業(機械保全職種に関する学科・大学編入資格付与課程に限る)	
	C-9	専修学校卒業(機械保全職種に関する学科・授業時間数1600時間以上)	
	C-10	大学・大学院卒業(機械保全職種に関する学科)	4年以上
	C-11	専修学校卒業(機械保全職種に関する学科・大学院入学資格付与課程に限る)	
	C-12	専修学校卒業(機械保全職種に関する学科・授業時間数3200時間以上)	
D 普通 職業訓練修了	D-13	短期課程【機械保全科】修了(授業時間数700時間以上)	6年以上
	D-14	普通課程 機械系【機械加工科】修了(授業時間数2800時間未満)	5年以上
	D-15	普通課程 機械系【精密加工科】修了(授業時間数2800時間未満)	
	D-16	普通課程 機械系【機械技術科】修了(授業時間数2800時間未満)	
	D-17	普通課程 電気電子系【製造設備科】修了(授業時間数2800時間未満)	
	D-18	普通課程 電気電子系【電気機器科】修了(授業時間数2800時間未満)	
	D-19	普通課程 メカトロニクス系【メカトロニクス科】修了(授業時間数2800時間未満)	4年以上
	D-20	普通課程 機械系【機械加工科】修了(授業時間数2800時間以上)	
	D-21	普通課程 機械系【精密加工科】修了(授業時間数2800時間以上)	
	D-22	普通課程 機械系【機械技術科】修了(授業時間数2800時間以上)	
	D-23	普通課程 電気・電子系【製造設備科】修了(授業時間数2800時間以上)	
	D-24	普通課程 電気・電子系【電気機器科】修了(授業時間数2800時間以上)	
	D-25	普通課程 メカトロニクス系【メカトロニクス科】修了(授業時間数2800時間以上)	
E 高度 職業訓練修了	E-26	専門課程(特定専門課程) 機械システム系【生産技術科】修了	3年以上 2級合格の場合：1年以上 3級合格の場合：2年以上
	E-27	専門課程(特定専門課程) 機械システム系【メカトロニクス技術科】修了	
	E-28	専門課程(特定専門課程) 電気・電子システム系【電気技術科】修了	
	E-29	専門課程(特定専門課程) 電気・電子システム系【電気エネルギー制御科】修了	
	E-30	応用課程(特定応用課程) 生産システム技術系【生産機械システム技術科】修了	1年以上
	E-31	応用課程(特定応用課程) 生産システム技術系【生産電子システム技術科】修了	
	E-32	応用課程(特定応用課程) 生産システム技術系【生産電気システム技術科】修了	
F 指導員 訓練修了等	F-33	長期課程【精密機械システム工学科】修了	1年以上
	F-34	長期課程【機械制御システム工学科】修了	
	F-35	長期課程【電気システム工学科】修了	
	F-36	長期課程【機械システム工学科】修了	
	F-37	短期養成課程 機械系【機械加工科】修了	
	F-38	短期養成課程 機械系【精密加工科】修了	
	F-39	短期養成課程 機械系【機械技術科】修了	
	F-40	短期養成課程 電気・電子系【製造設備科】修了	
	F-41	短期養成課程 電気・電子系【電気機器科】修了	
	F-42	短期養成課程 メカトロニクス系【メカトロニクス科】修了	
	F-43	指導員免許【機械科】取得	0年(問わない)
	F-44	長期養成課程【機械指導科】修了	
	F-45	長期養成課程【電気指導科】修了	
G 個別認定の 職業訓練修了等	G-46	公式サイトの「当協会が個別に認定した機械保全技能検定における職業訓練による受検資格(短縮要件)」で確認してください。	—

機械保全職種に関する学科の目安は次のページへ▶▶▶▶

③2級受検資格一覧表

下表の中から該当する受検資格を確認し、受検申請をしてください。

受検資格 No.B～Gの方は「受検資格の内容」を満たしていれば、実務経験は問いません。

受検資格区分	受検資格No.	受検資格の内容(2級)	合格・卒業・修了後の 実務経験年数
A 実務経験年数	A-51	機械保全に関する実務経験2年以上	—
B 技能士合格	B-52	3級機械保全技能検定合格	
C 学校卒業	C-53	高校卒業(機械保全職種に関する学科)	
	C-54	短大卒業(機械保全職種に関する学科)	
	C-55	高専卒業(機械保全職種に関する学科)	
	C-56	専修学校卒業(機械保全職種に関する学科)	
	C-57	高校専攻科卒業(機械保全職種に関する学科)	
	C-58	大学・大学院卒業(機械保全職種に関する学科)	
D 普通 職業訓練修了	D-59	短期課程【機械保全科】修了	
	D-60	普通課程 機械系【機械加工科】修了	
	D-61	普通課程 機械系【精密加工科】修了	
	D-62	普通課程 機械系【機械技術科】修了	
	D-63	普通課程 電気・電子系【製造設備科】修了	
	D-64	普通課程 電気・電子系【電気機器科】修了	
	D-65	普通課程 メカトロニクス系【メカトロニクス科】修了	
E 高度 職業訓練修了	E-66	専門課程(特定専門課程) 機械システム系【生産技術科】修了	
	E-67	専門課程(特定専門課程) 機械システム系【メカトロニクス技術科】修了	
	E-68	専門課程(特定専門課程) 電気・電子システム系【電気技術科】修了	
	E-69	専門課程(特定専門課程) 電気・電子システム系【電気エネルギー制御科】修了	
	E-70	応用課程(特定応用課程) 生産システム技術系【生産機械システム技術科】修了	
	E-71	応用課程(特定応用課程) 生産システム技術系【生産電子システム技術科】修了	
	E-72	応用課程(特定応用課程) 生産システム技術系【生産電気システム技術科】修了	
F 指導員 訓練修了等	F-73	長期課程【精密機械システム工学科】修了	
	F-74	長期課程【機械制御システム工学科】修了	
	F-75	長期課程【電気システム工学科】修了	
	F-76	長期課程【機械システム工学科】修了	
	F-77	短期養成課程 機械系【機械加工科】修了	
	F-78	短期養成課程 機械系【精密加工科】修了	
	F-79	短期養成課程 機械系【機械技術科】修了	
	F-80	短期養成課程 電気・電子系【製造設備科】修了	
	F-81	短期養成課程 電気・電子系【電気機器科】修了	
	F-82	短期養成課程 メカトロニクス系【メカトロニクス科】修了	
	F-83	指導員免許【機械科】取得	
	F-84	長期養成課程【機械指導科】修了	
	F-85	長期養成課程【電気指導科】修了	
G 個別認定の 職業訓練修了等	G-86	公式サイトの「当協会が個別に認定した機械保全技能検定における職業訓練による受検資格(短縮要件)」で確認してください。	0年(問わない)

※機械保全職種に関する学科の目安について

- 工業高校などの場合 ○：機械科、電気科、機械工学科など
×：普通科、商業科、土木科、建築科など
- 大学・短大などの場合 ○：工学部 機械工学科、電気工学科など
×：文系学科・学部(文学、経済、経営、法)、医学部など

ご不明な場合は公式サイトのお問い合わせフォームにてお問合せください。

- ※お問合せ・ご相談内容欄に正式な学校名・学科名を入力してください
※お調べしてご回答します。回答までに数日間要する場合があります
※学校卒業は、受検資格に当てはまる学歴を記入してください
(最終学歴を書く必要はありません)

④3級受検資格一覧表

3級の受検資格は、下表の1種類のみで、実務経験年数は0年(問わない)で受検可能です。

受検資格区分	受検資格 No.	受検資格の内容	合格後の実務経験年数
実務経験年数	—	機械保全に関する業務に従事している者、あるいは従事しようとしている者	0年(問わない)

9 試験の免除

機械保全技能検定における試験の免除は下記のとおりです。

(1) 技能検定合格または一部合格による試験の免除

対 象		技能検定試験の免除の範囲				備 考
		特級	1 級	2 級	3 級	
特級	実技試験のみ合格	実技試験免除	—	—	—	特級の实技試験または学科試験に合格した日から5年間(最終年は年度終わりまで)有効
	学科試験のみ合格	学科試験免除	—	—	—	
1 級	技能士合格	—	学科試験免除			—
	実技試験のみ合格	—	実技試験免除			同一作業に限る
	学科試験のみ合格	—	学科試験免除			同一作業に限る
2 級	技能士合格	—	—	学科試験免除		—
	実技試験のみ合格	—	—	実技試験免除		同一作業に限る
	学科試験のみ合格	—	—	学科試験免除		同一作業に限る
3 級	技能士合格	—	—	—	学科試験免除	—
	実技試験のみ合格	—	—	—	実技試験免除	同一作業に限る
	学科試験のみ合格	—	—	—	学科試験免除	同一作業に限る

(2) 職業訓練による試験の免除

職業訓練の種類	訓練課程	訓練期間	訓練系等	専攻科等	学科試験免除	備 考
普通職業訓練	短期課程	短期	(1級または2級) 技能士コース	機械保全科	○	修了時試験合格が必要
高度職業訓練	専門課程 (特定専門課程)	長期 (2年)	機械システム系	生産技術科	○	1 級：技能照査合格+合格後実務経験4年以上
			電気・電子システム系	電気エネルギー制御科	○	2 級：技能照査合格
	応用課程 (特定応用課程)	長期 (2年)	生産システム技術系	生産電気システム技術科	○	特級：技能照査合格+合格後実務経験5年以上 1 級：技能照査合格+合格後実務経験2年以上 2 級：技能照査合格
職業訓練指導員免許	—	—	—	機械科	○	特級は除く

※訓練中の場合は、資格を満たしません

※免除となる等級は、訓練系等欄ならびに備考欄に記載の等級以下を含みます

(3) 当協会が個別に認定した職業訓練による試験の免除

施設の名称	訓練課程	訓練科	総訓練時間の区分	学科試験免除	修了者の適用の範囲
群馬県立前橋産業技術専門校	普通課程	CAD 技術科(機械製図科)	2800時間以上	○	平成27年3月修了者以降 2 級：技能照査合格 ※ 1 級は免除になりません
東京都立多摩職業能力開発センター	普通課程	計測機器製造科 (機械組立技術科)	2800時間未満	○	平成24年3月修了者以降 2 級：技能照査合格 ※ 1 級は免除になりません
三重県立津高等技術学校	普通課程	メカトロニクス系 メカトロニクス科 (機械制御システム科)	2800時間以上	○	平成19年4月修了者以降 2 級：技能照査合格 ※ 1 級は免除になりません
埼玉県立中央高等技術専門校	普通課程	機械制御システム科 (機械系機械技術科)	2800時間以上	○	平成22年3月修了者以降 2 級：技能照査合格 ※ 1 級は免除になりません
広島県立技術短期大学校	専門課程	制御技術科	2800時間以上	○	平成21年4月以降修了者 1 級：技能照査合格+合格後実務経験4年以上 2 級：技能照査合格
職業能力開発総合大学校	専門課程	機械システム系 制御技術科	—	○	平成6年3月修了者～平成24年3月修了者 1 級：技能照査合格+合格後実務経験4年以上 2 級：技能照査合格
東海職業能力開発大学校	専門課程	機械システム系 産業機械科	—	○	平成6年3月修了者～平成14年3月修了者 1 級：技能照査合格+合格後実務経験4年以上 2 級：技能照査合格

(4) 技能検定委員歴による試験の免除

対象者	技能検定試験の免除の範囲				備 考
	特級	1 級	2 級	3 級	
技能検定委員として通算2年以上実技試験を担当した方 ※都道府県、指定試験機関のいずれも可	—	実技の全部			同一作業に限る
技能検定委員として通算2年以上試験問題作成を担当した方 ※中央技能検定委員、指定試験機関のいずれも可	—	学科および実技の全部			

試験の免除については、公式サイトにて「等級別」でも、確認できます。

▶ <https://www.kikaihozenshi.jp/points/>

10 免除付受検申請

次の a ～ c いずれかの条件にあてはまる方は、受検申請時に免除付で受検申請をしてください。

【申請可能な条件・申請方法】

- a 平成27年度以降の試験で技能士合格または一部合格(学科試験もしくは実技試験の片方を合格)した方
→受検申請時の免除付受検申請欄に、技能士番号または合格通知番号を記入
- b 平成27年度以降に合格証書交付申請で技能士合格した方
→受検申請時の免除付受検申請欄に、技能士番号を記入
- c JTEX で2017年度以降に職業訓練短期課程(機械保全コース)を修了(合格)した方(3級は除く)
→受検申請時の免除付受検申請欄に、JTEX の受講番号(先頭がゼロの場合は省略しないこと)を記入

※免除付受検申請をしていただくと、今回受検の試験結果(合格)と同時に、技能士合格となります。別途のお手続き(合格証書交付申請)が不要となりますので、是非ご利用ください

※試験の免除資格の書き間違い、もしくは免除資格を取得した当時の受検申請情報(氏名、フリガナ)に変更がある場合はご利用いただけません

～合格通知番号・技能士番号検索をお忘れの方へ～
(平成27年度以降の試験のみ)

機械保全技能検定公式サイト (<https://www.kikaihozenshi.jp/>)

〈パソコン画面〉

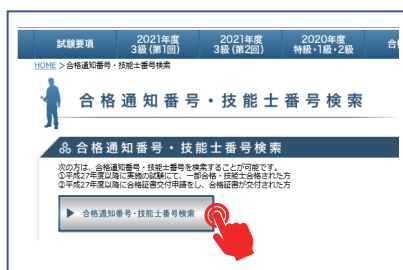


〈モバイル画面〉



各画面の「合格通知番号・技能士番号検索」をクリック

機械保全技能検定公式サイト「合格通知番号・技能士番号検索」
<https://www.cbtsol.com/kikaihozen/result/>



各項目に入力いただき、
「次へ」ボタンをクリックしてください

※上記、a ～ c に該当しない方は、今回試験の学科試験もしくは実技試験の合格後に「合格証書交付申請」をすることで技能士認定されます。合格証書交付申請の詳細は、公式サイト内「合格証書交付申請」を確認してください

<https://www.kikaihozenshi.jp/passing/passing_detail/>

※合格証書交付申請から技能士認定(合格証書交付)まで約3ヵ月間を要します

11 受検手数料

受検手数料は下表のとおりです。

なお、2級・3級における実技試験の受検手数料は、減免ならびに学割の適用により受検手数料が変わりますのでご注意ください。

※学科試験の受検手数料は、いずれの条件でも一律4,000円となります

※決済方法により事務手数料(80円・税込)または振込手数料(課税対象)が別途必要です

※減免ならびに学割の適用は、出入国管理及び難民認定法 別表第一の上欄の在留資格をもって在留する方は適用されません

特級・1級

	学科試験のみ	実技試験のみ	学科・実技試験両方	—
① 一般	4,000円	15,400円	19,400円	—

2級

	学科試験のみ	実技試験のみ	学科・実技試験両方	適用条件
① 一般	4,000円	15,400円	19,400円	—
② 減免適用		6,400円	10,400円	2021年4月1日時点で35歳未満の方 (1986年4月2日生まれ以降)

3級

	学科試験のみ	実技試験のみ	学科・実技試験両方	適用条件
① 一般	4,000円	15,400円	19,400円	—
② 減免適用		6,400円	10,400円	2021年4月1日時点で35歳未満の方 (1986年4月2日生まれ以降)
③ 学割適用		10,000円	14,000円	学生の方 (学生の定義は表外※参照)
④ 減免かつ学割適用		2,900円	6,900円	②かつ③両方適用される方

※学生とは、学校教育法の規定による学校の在籍生、あるいは職業能力開発促進法の規定の施設で職業訓練を受けている方で、受検申請締最終日(2021年9月24日(金))時点で在籍している方

1 受検申請上の注意点

下記の注意事項をよく読んでから申請をお願いします。

(1) 個人情報の取り扱いについて

受検申請手続きで登録・申請いただく情報は、機械保全技能検定試験を実施するために必要なものに限っており、機械保全技能検定試験の実施運営および試験に関する情報提供のみに利用します。

(2) 個人申請と団体申請について

受検申請は、原則として受検者本人からの申請となります。ただし、学校や企業などの団体で受検者を取りまとめる場合は、団体責任者による代理申請も可能です。その際は、**必ず受検者本人の同意(確認)を得てください**。代理申請による受検申請内容に不備があり受検できなかった場合や、不便・費用の不利益が発生しても当会は責任を負いかねます。

(3) 受検申請書への記入について

受検申請書への記入は、**黒インキ(ボールペン・万年筆など)を用いて、楷書と算用数字で丁寧に記入してください**。

※鉛筆またはシャープペンシルでの記入は不可

記入する文字は、略字・俗字などを使用せず、また、学校名・会社名などに俗称や略称などを使用しないでください。

誤記の場合は、該当部分を二重線で消して押印訂正、もしくは**新しい申請書に初めから書き直してください**。

※修正テープや修正液を使用しての訂正は不可

(4) 本人確認書類の提出について

全受検申請者の本人確認書類(運転免許証、保険証等の写し等)の貼付またはアップロードが必要となります。本人確認書類の提出がない場合、氏名・生年月日が不鮮明なコピーの場合は、**受検申請を受理できません**。

提出方法は申請方法により異なりますので、申請ごとに確認してください。

<本人確認書類として認められる証明書類の例>

①生徒手帳、学生証(氏名・生年月日が記載されていること)

②健康保険被保険者証

③運転免許証

※上記の証明書類でも氏名・生年月日が確認できないものは、**認められません**

※学生の場合、所属する学校の責任者(教諭・校長)の署名により、本人確認書類貼付の代替とすることができます(受検申請書の貼付欄内に署名捺印ください)

※①～③以外の証明書類の場合は、受検サポートセンターまでお問合せください

(5) 本人確認書類と受検申請情報の不一致について

本人確認書類と受検申請情報において、**氏名、生年月日が不一致の場合、本人確認書類を正式な情報として取り扱います**。

特に氏名に外字がある場合(例：斉藤の「斉、斎、齋」、山崎の「崎、崎、嵯」、高橋の「高、高」、渡辺の「辺、部、邊、邊」など)は本人確認書類の記載どおりに記載してください。

(6) 希望受検地区について

希望受検地区は、受検申請時に選択できますが、試験会場・日程は選択(指定)できません。決定された試験会場・日程は、受検票またはマイページからご確認ください。

(7) 受検申請時の受検資格について

受検申請する際には、受検資格 No.が必要になります。該当する受検資格 No.を、各等級の受検資格一覧表(1級：12ページ、2級13ページ参照。特級・3級は不要)から1つ選択してください。複数の項目で該当する場合でも、1つの選択で結構です。※公式サイトには、「受検資格判定」サイトがございます(詳細は、10ページ参照)

(8) 受検手数料について

支払期限までに受検手数料のお支払いがない場合、受検申請は無効になります。

職業能力開発促進法施行令の規定により、**受検申請受理後は、受検をしなかった場合であっても受検手数料の返還はしません**。次回以降の受検手数料に充当することもできません。ただし、天災・その他受検者の責に帰することのできない事由により受検できなかった場合は返還することがあります。受検手数料以外に決済方法により、振込手数料や事務手数料(80円、税込)がかかります。申請者のご負担となります。

(9) 受検申請内容の変更などについて

受検申請後は、申請内容の変更はできません。ただし、住所、改姓、連絡先などの受検者個人の属性に関する事項に限り変更可能です。該当事象が発生した場合、速やかに受検者情報変更連絡書を公式サイトからダウンロードし、受検サポートセンターまでお送りください。

なお、住所に変更があった際は、受検票や試験結果通知など通知物が届かない場合がありますので、必ず郵便局の転居・転送サービスなどをご利用ください。

(10) 障がいのある方、介助が必要な方について

障がいのある方で受検時に一定の配慮が必要な方や、試験当日に介助者などの同伴が必要な場合は、受検申請後の下記期間に受検サポートセンターにご連絡ください。

※第2回：9月28日(火)～10月1日(金)

上記期間外や送付状、その他申請時の添付書類に記載頂いても受理できませんので、予めご了承ください

(11) 試験当日に必要な持ち物について

試験当日に必要な持ち物は下記のとおりです。作業により必要な持ち物が異なりますので、よく確認してください。なお、必要な持ち物を忘れた場合、試験会場でお貸しすることはできません。(詳細は、受検票にてお知らせします)

①受検票(写真(3×4cm)を必ず貼付)

②筆記用具(HB か B の鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム)

③指定された設備・工具など(電気系保全作業実技試験のみ)
※設備・工具の詳細は、公式サイトをご確認ください

④腕時計(会場によっては時計がない、見にくい場合あり)
※通信機能や音が出る時計は使用不可
※携帯電話、スマートフォンを時計代わりに使用できません

⑤電卓(特級実技、設備診断作業実技試験のみ)
※四則演算などの標準機能の電卓に限ります
※使用可能な電卓の詳細は公式サイトをご確認ください

続きは次ページへ

(12) 感染症拡大防止等の対策について

1. 2021年度第2回機械保全技能検定試験の実施

(1) 試験実施の可否について

- 機械保全技能検定事務局では、感染症拡大防止対策をガイドライン(※)として定め、試験を実施しています。
※ガイドラインの内容は逐次見直すことがあります。
見直しが発生し、受検者に関わる事項の場合は、公式サイトへ見直しの内容を掲載します

- 今後の機械保全技能検定試験の実施可否については、下記の事象が発生した場合、中止もしくは延期等の判断を行う場合があります。

(ア) 緊急事態宣言の発令等が全国または一部地域で発令された場合

(イ) 感染症拡大状況や社会的情勢に変化が生じた場合

(ウ) 受検者の感染予防対策、感染症拡大防止策、ならびに試験開催準備(資材運搬、会場確保、運営スタッフ確保等)に何かしらの支障が発生した場合

- 実施可否に関わる情報は、逐次更新される場合がありますので、公式サイトの確認をお願いします。

(2) 受検申請と試験会場の立地・定員について

- 受検案内(6ページ~9ページ)掲載の試験実施地区への会場設置にむけて準備を行っております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症対策等で自治体や会場施設側の貸出の制限等により、予定している試験実施地区での会場設置が出来ない場合、試験実施地区で会場設置が出来ない場合は、近隣地区での開催になることがあります。

※確定した試験会場は、受検票にてお知らせします

※上記以外で、団体企業様の会場施設をお借りしての会場においては、企業で定められた対応策、または本ガイドラインに準じて運営・対応をお願いします

2. 試験会場来場の際の受検者へのお願い

(1) 受検者への依頼事項

- 受検者(ならびに運営スタッフ等)は、試験会場において下記事項の協力をお願いします。

(ア) 試験会場における感染症拡大防止への協力

(イ) マスクの持参および会場内でのマスクの着用

(ウ) 会場におけるこまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施

(2) 試験日直近の体調等の報告

- 受検者は、受検票に下記を記載し、試験日当日提出してください。

(ア) 試験当日の体温の報告

(イ) 試験日前2週間における以下の事項の報告

a 37.5℃以上の発熱

b 咳、のどの痛みなどの風邪の症状

c だるさ(倦怠感)、息苦しさ

d 嗅覚や味覚の異常

e 身体が重く感じる、疲れやすい等

f 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無

g 同居家族や身近な知人の感染が疑われる方の有無

h 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該国等の在住者との濃厚接触の有無

※運営スタッフも同様の確認を行います

※発熱、咳などの症状がある方は受検を控えてください

3. 試験会場での対応

(1) 試験会場における対応

- 下記の項目に従い、会場の設営および運営を行います。ご了承ください。

(ア) 試験会場の施設内に、石けんや消毒用アルコールを設置する等、手指の衛生を保つことができる環境を整備します。運営スタッフも適宜使用します。

(イ) 試験会場では、試験の実施に支障が生じない範囲で換気に努めます。

(ウ) 試験の配席に当たっては、原則として受検者相互に1メートル以上の間隔を取るよう配席を行います。

(エ) 試験会場内での移動により受検者等が密集することのないよう、入室、退室を一斉に行わないように配慮します。

(オ) 受検者に発熱、咳等の症状がみられた場合は、必要に応じて受検の自粛をお願いすることがあります。

(カ) 会場内では運営スタッフもマスク着用のうえ運営をします。また、必要に応じ、フェイスシールドを着用して運営する場合があります。

(キ) 運営スタッフは、説明事項、注意事項のアナウンスの際は、受検者との対面を避けた対応となります。

(ク) 会場設備等(作業机等)はアルコール消毒を実施します。

(ケ) 電気系保全作業の実技試験にて使用する機材(事務局準備)は、適宜、アルコールなどの消毒等を施し、提供します。また、受検者準備の工具等においては、受検者自身でアルコール消毒をするなど感染症拡大防止対策をお願いします。

(コ) 感染症拡大防止対策により、一部試験の運営方法を変更する場合があります。その際は、変更にとりまう受検者への影響度合いにより、事前に公式サイト等での公開、もしくは試験日当日にお知らせします。

2 受検申請手続き

受検申請の手続き方法は、下記の2種類から選択できます。

- ・インターネット申請（推奨）
- ・郵送申請

※団体申請の場合は、団体責任者が団体情報登録時に申請方法を決定しますので、団体に所属する個人受検者は、それに準拠して申請してください

受検申請は、インターネット申請がおすすめです

◇パソコン・スマートフォン・タブレットで受検申請可能！ 約5分で申請完了！

（郵送申請は、申請書のダウンロード・A3サイズでの印刷が必要です）

◇マイページで、受検票・試験結果到着前に申請情報が確認可能！

◇受検申請期間は、郵送申請よりも長めに設定！

2021年8月30日（月）10:00～2021年9月24日（金）18:00まで

（郵送申請は、3級：2021年8月30日（月）～2021年9月10日（金）消印有効

特・1・2級：2021年8月30日（月）～2021年9月17日（金）消印有効）

（個人申請で郵送申請の場合は、マイページをご利用いただけません）

※注意

1級・2級で受検資格 No.D ～ G 区分の場合は、郵送申請のみとなります。

詳細は、12、13ページを参照ください。

（全受検者の9割以上の受検資格が、A. 実務経験年数、B. 技能士合格、C. 学校卒業の場合のため、ほとんどの方がインターネット申請可能です）

※申請方法の詳細は、

公式サイト内「インターネット申請マニュアル」をご確認ください

<https://www.kikaihozenshi.jp/pdf/2021/vol2_manual_net.pdf>

※郵送申請の詳細は、公式サイト内「郵送申請マニュアル」をご確認ください

<https://www.kikaihozenshi.jp/pdf/2021/vol2_manual_net.pdf>

3 個人／団体マイページの利用方法

個人マイページ・団体マイページとは

個人情報・団体情報の登録後に作成されるマイページは、下記の機能が使える便利な WEB サイトです。

- ・受検申請情報の照会
- ・受検票到着前に、受検票の内容（試験日・試験会場）が確認可能
- ・請求書のダウンロード（団体のみ）
- ・受検者リストのダウンロード（団体のみ）
- ・試験結果通知到着前に、試験結果の内容（可否・点数）が確認可能
- ・過去の受検履歴も確認可能（同じマイページを使用して申請）

また、マイページは、一度登録すると繰り返しご利用いただけるため、申請都度の個人情報・団体情報の登録の手間を省くことが可能です。是非、ご利用ください。

※郵送申請の場合、個人マイページは利用できません

※上記機能のご利用には、個人情報・団体情報の登録後に発行される ID とパスワードでログインしてください（ID・パスワードをお忘れの場合は、受検サポートセンターへご連絡ください）

※マイページを繰り返しご利用いただく際は、登録されている情報が最新の情報になっているかを受検申請前に必ずご確認ください

個人マイページ（個人情報登録）・団体マイページ（団体情報登録）期間

2021年8月27日（金）10:00～2021年9月24日（金）17:00

※登録方法の詳細は、公式サイト内「インターネット申請マニュアル」をご確認ください

<https://www.kikaihozenshi.jp/pdf/2021/vol2_manual_net.pdf>

4 個人申請の流れとスケジュール

①受検案内・申請マニュアル確認

8月2日～

②受検申請

※受検申請方法を選択（郵送申請は、申請期間が短いので要注意！！ 受検資格〈No.D～G〉は郵送申請のみ受付！！）

②-1. インターネット申請

全等級共通

②-1-1. 個人情報登録
(個人マイページ登録) 8月27日 10:00
～9月24日 17:00②-1-2. 受検申請登録 8月30日 10:00
～9月24日 18:00

②-1-3. 受検手数料支払い 8月30日～9月25日

②-2. 郵送申請

特級・1級・2級

②-2-1. 受検申請書作成
8月30日～9月17日消印有効

3級

②-2-1. 受検申請書作成
8月30日～9月10日消印有効

②-2-2. 払込取扱票受け取り

11月10日発送

②-2-3. 受検手数料支払い

～11月30日

③《電気系保全作業実技のみ》試験問題（概要）の事前公開

※他の作業は「出題例」として常時公開

3級
1級・2級公開中（5月12日～）
11月5日

④受検票発送

11月12日

⑤試験

受検票に記載の日程

⑥正解の公表

※電気系保全作業実技試験は、正解の公表はありません

2級
特級・1級・3級12月24日 10:00～
1月21日 10:00～

⑦合格発表

3月25日 10:00～

⑧結果通知発送

3月25日

⑨合格証書発送

4月25日

5 団体申請の流れとスケジュール

★：団体責任者対応 ●：申請者対応

①★●受検案内・申請マニュアル確認

8月2日～

②★団体情報登録(団体マイページ登録・団体申請コード取得/周知)

8月27日 10:00 ～ 9月24日 17:00

③受検申請

※団体責任者が選択した方法(郵送申請は、申請期間が短いので要注意!! 受検資格(No.D～G)は郵送申請のみ受付!!)

③-1. インターネット申請

全等級共通

③-1-1. ●個人情報登録
(個人マイページ登録) 8月27日 10:00
～9月24日 17:00③-1-2. ●受検申請登録 8月30日 10:00
～9月24日 18:00

③-1-3. 受検手数料支払い ※団体責任者が選択した方法

③-1-3a. 個人支払い

●コンビニ・銀行ATM
・クレジット決済
8月30日～9月25日

③-1-3b. 団体一括支払い

★請求書ダウンロード
11月1日★指定口座に振込
～11月30日

③-2. 郵送申請

特級・1級・2級のみ

③-2-1. ●受検申請書作成

③-2-2. ★申請書とりまとめ
・送付
8月30日～9月17日消印有効

③-2-3. 受検手数料支払い ※団体責任者が選択した方法

③-2-3a. 個人支払い

●払込取扱票受け取り
11月10日発送●受検手数料支払い
～11月30日3級を含む
(3級のみ、3級+その他等級)

③-2-1. ●受検申請書作成

③-2-2. ★申請書とりまとめ
・送付
8月30日～9月10日消印有効

③-2-3. 受検手数料支払い ※団体責任者が選択した方法

③-2-3b. 団体一括支払い

★請求書ダウンロード
11月1日★指定口座に振込
～11月30日

④●《電気系保全作業実技のみ》試験問題(概要)の事前公開

※他の作業は「出題例」として常時公開

3級
1級・2級公開中(5月12日～)
11月5日

⑤受検票発送

※団体責任者が選択した方法で発送

●個人宛
★団体責任者宛11月12日
11月19日

⑥●試験

受検票に記載の日程

⑦●正解の公表

※電気系保全作業実技試験は、正解の公表はありません

2級
特級・1級・3級12月24日 10:00～
1月21日 10:00～

⑧★●合格発表

3月25日 10:00～

⑨結果通知発送

※団体責任者が選択した方法で発送

●個人宛
★団体責任者宛3月25日
3月31日

⑩★●合格証書発送

※団体責任者が選択した方法で発送

4月25日

1 FAQ (よくあるお問合せ)

2021年度内の「3級」2回開催について

Q 2021年度内に、第1回・第2回試験の両方で「3級」受検可能ですか？

A 受検可能です。ただし、下記についてご注意ください。

- ・受検申請期間は、第1回試験・第2回試験で各々決まっております。両方の試験でご受検を希望する場合は、それぞれの申請期間内で受検申請が必要となります(申請期間外で申請書を送付されても、申請無効となります)
- ・第1回試験の試験結果を、第2回試験の免除付き申請としてご使用する場合は、必ず、第1回の試験結果(技能士番号もしくは合格通知番号)をご確認(※)のうえ申請してください。
※試験結果は、結果通知書(郵送)のほか、公式サイト内「合格通知番号・技能士番号検索」でも確認することが可能です

受検申請について

Q 試験会場・日程は選択できますか？

A 受検地区については受検申請時に選択できますが、試験会場・日程については選択(指定)できません。受検票でご確認ください。

Q 受検申請書に写真は必要ですか？

A 受検申請書に写真を貼付する必要はありません。

後日、郵送される受検票に写真(※)を貼って試験当日持参してください。

※縦4cm×横3cm・正面・脱帽・6ヵ月以内に撮影された写真の裏面に氏名・受検番号を記入してください

Q 受検手数料は課税対象ですか？

A 非課税です。振込手数料や事務手数料などは、課税対象です。

Q キャンセル(返金)はできますか？

A 受検申請を行い、受理された受検申請で支払われた受検手数料は理由のいかんにかかわらずキャンセル(返金)できません。また、次回以降の試験への充当もできません。

Q 請求書の振込口座が昨年と違うのですが？

A 試験回ごとに振込口座が団体ごとに割り振られる仕組みになっていますので、毎回振込口座が変更になりますのでご指定の口座にお振込みください。

Q 本人確認書類はどのような書類が該当しますか？

A <本人確認書類として認められる証明書類の例>

①運転免許証

②健康保険証

③学生証(氏名、生年月日が記載されていること)

※上記の証明書類でも氏名および生年月日が確認できないものは、認められません

※いずれも有効期限内のものに限ります

※学生の方の場合、所属する学校の責任者(教諭・校長)の署名により、本人確認書類貼付の代替とすることができます(受検申請書の貼付欄内に署名捺印ください)

※①～③以外の証明書類の場合は、受検サポートセンターまでお問合せください

Q 郵送申請の受検申請書が届いているか受領の確認をして欲しい。

A 簡易書留の場合、配送の確認は日本郵便・郵便追跡サービスをご利用ください。受検サポートセンターでは個別の受け取り確認はいたしませんのでご了承ください。

受検資格について

Q 受検資格(No.)が複数該当する場合は、どのように受検申請書に記入すれば良いですか？(1級、2級のみ)

A 受検資格が複数の項目で該当する場合でも、記入は1項目で結構です。受検資格No.Aを優先して該当する受検資格(短縮要件)を1つ記入してください。複数の受検資格No.の記入は不要です。

免除付受検申請と、学科試験または実技試験の一部合格について

Q 過去に学科試験または実施試験に合格しているのですが、いつまで有効ですか？

A 1級・2級・3級は、永続的に有効です。特級については、合格した日から5年間有効です。

Q 過去に学科試験または実施試験に合格しているのですが、免除付の受検申請はできますか？

A ①平成27年度以降(当会実施)に技能士合格または一部合格を取得の方

→免除付受検申請が可能です。受検申請書に技能士番号または合格通知番号を、正確に記入してください。

※技能士番号または合格通知番号が不明の方は、公式サイト「合格通知番号・技能士番号検索」で番号を検索できます(詳細は、15ページ参照)

②平成26年度以前(都道府県協会実施)に技能士合格または一部合格を取得の方

→免除付受検申請はできません。合格後に合格証書交付申請をしてください。

受検票について

Q 受検票が届かない、紛失してしまった場合は、どうすればいいですか？

A 発送日から1週間経過してもお手元に届かない場合、受領後に紛失した場合は、受検サポートセンターにご連絡ください。

Q 試験会場・日程は変更できますか？

A 受検票に記載の試験会場・日程は変更できません。

受検申請後について

Q 受検申請後に引越したのですが、手続きは必要ですか？

A 受検者情報変更連絡書を公式サイトからダウンロードし、受検サポートセンターまでお送りください。また、受検票や試験結果通知などが届かない場合がありますので、必ず郵便局の転居・転送サービスなどを利用し、確実に届くようにしてください。郵便局の台帳に登録されていないと配達されないことがあります。詳細は、郵便局にお問合せください。

Q 受検申請後に氏名が変わったのですが、手続きは必要ですか？

A 受検者情報変更連絡書を公式サイトからダウンロードし、氏名が変わったことがわかる書類(戸籍抄本や戸籍謄本など)の控えを受検サポートセンターまでお送りください。

試験の欠席について

Q 体調が悪い、冠婚葬祭、所用などで試験を欠席します。

A 欠席のご連絡は不要です。試験日の変更や受検手数料の返金も行いません。また、次回以降の試験への充当もできません。

試験対策本(テキスト)や試験対策講座について

Q 機械保全技能検定についての勉強方法やテキスト、講座について知りたいのですが？

A 当会はテキストの発行や、対策講座を実施しておりません。また、個別のご案内も行っておりません。お手数ですが、インターネットなど検索してください。

お問合せ先

機械保全技能検定受検サポートセンター

お問合せフォーム（24時間受付中）

機械保全技能検定 公式サイト (<https://www.kikaihozenshi.jp/>)

〈パソコン画面〉



〈モバイル画面〉



電話

TEL : 03-5209-0553 (平日10:00~17:00受付)

※公益社団法人日本プラントメンテナンス協会は、機械保全技能検定業務の一部を株式会社シー・ビー・ティ・ソリューションズに委託しています

公式サイト : <https://www.kikaihozenshi.jp/>

試験実施に関する変更事項や受検者への通知事項がある場合など試験実施に関する最新の情報は、公式サイトに掲載します。
必ず公式サイトで最新の情報を確認してください。



厚生労働大臣指定試験機関
公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
Japan Institute of Plant Maintenance